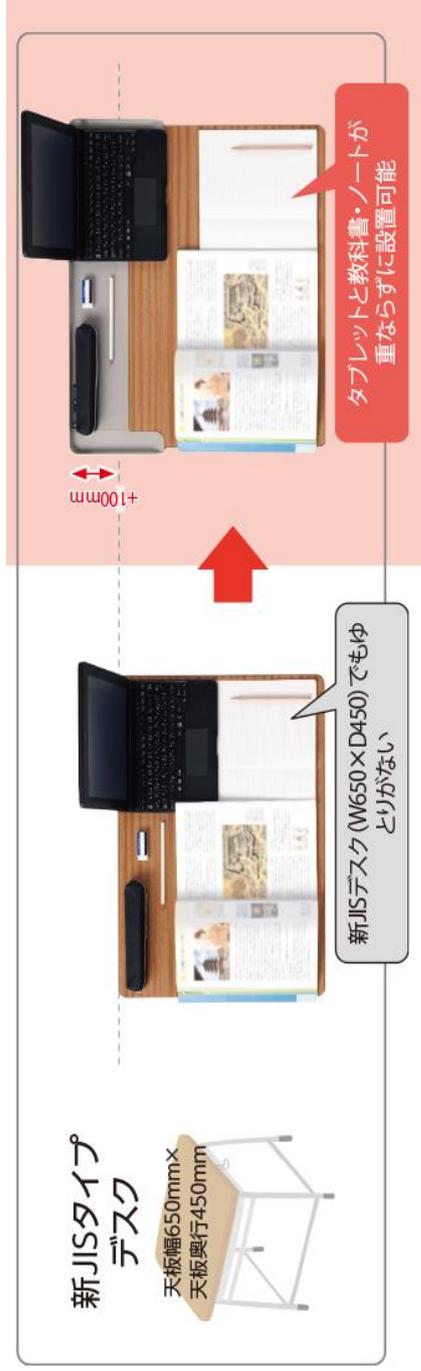


児童・生徒用デスク天板拡張器具 (天板拡張くん)

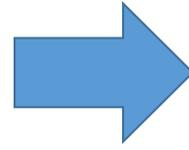
1/2



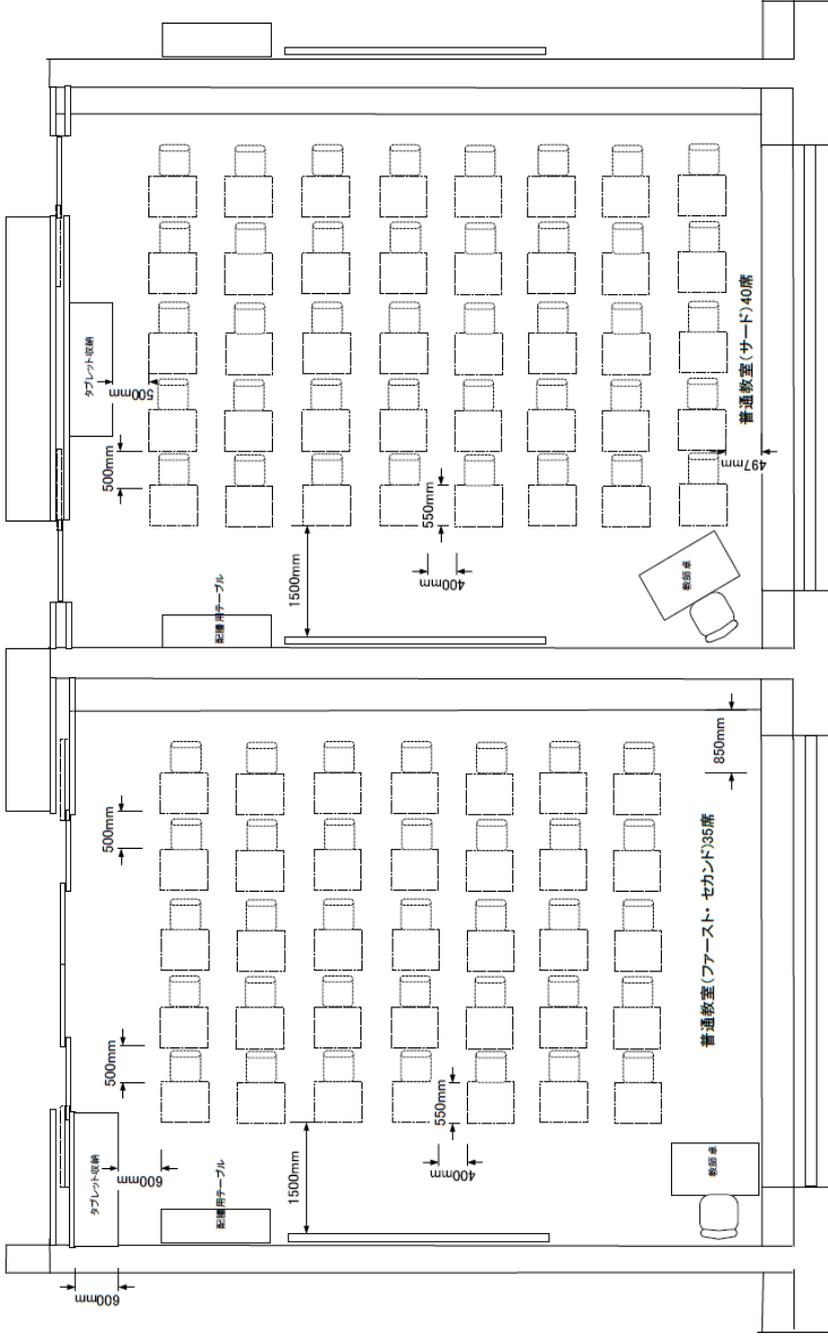
奥行きプラス10cm



机前後間隔 50cm



机レイアウト参考図



普通教室(サード)机拡張装着プラン S=1/50

普通教室(ファースト・セカンド)机拡張装着プラン S=1/50



北光小学校

奥行き5列の場合



現在 壁からの離れ 2m30cm程度



砂川学園における水泳授業の単位・回数

基本事項

- ・水泳授業で使用するプールは、現在の豊沼小学校と中央小学校のプール2つとする。この2つのプールを砂川学園のプールと位置付ける。
- ・砂川学園とプール間の移動はスクールバスで行う。スクールバスの座席数は、最大で、正座席37人+補助席7人=44人。
- ・水泳授業は1～6年生で行う。
- ・1～6年生のクラス数は全体で16クラス（1・2年生：各2クラス、3～6年生：各3クラス）。
- ・1日のうち水泳授業を行う時間は、3・4時間目を基本とする。スクールバスの運行上、5・6時間目は難しい。
- ・プールを使用できる期間は7・8月で、夏休み等を除くと25日間程度。このうち、寒い日・暑い日等の使えない日を考慮すると、プールを使用できる日数は20日間と考える。すると、プールを使用できる回数は、20日間×2か所=40回。

水泳授業の単位

- ・水泳授業は「1クラスと特別支援学級の児童」を1単位として行う。更衣室やプールの広さから、2クラス同時に行うことは難しい。

水泳授業の回数

- ・全16クラスが各1回の水泳授業を行うと全体で16回使用することになる。
- ・ " 各2回 " 全体で32回 "
- ・ " 各3回 " 全体で48回 "

⇒ 全クラス各2回の水泳授業を行うことを基本とする。

その他

- ・2つのプールの日常的な点検・管理は、基本的に公務補が行う。
- ・網戸やトイレなど、修繕を要する箇所がある。

砂川学年開校時における後期課程の副教材販売について

教育課程WG

1 採択について

- ・新7年生の販売に向けて、費用納入封筒を小学校の卒業式（3月19日）までに配付を完了する必要があるため、2月末までに採択を完了する必要がある。
- ・上記の理由から、旧砂川中の職員で7～9年生の各教科の副教材の採択を行う。
- ・美術や技術家庭など、実習を伴う教材の採択に関しては、新年度担当する教諭の意向を反映させる必要性が高いことから、新年度スタート以降の採択・発注とし、学年会計の中で支出を行う。

2 教材販売について

- ・日時 4月15日（火）
- ・在校生（8・9年生）は新1年生の入学式終了後か開始前の朝に生徒へ販売する。
- ・新7年生は、入学式終了後体育館に保護者へ販売する。
- ・場所 新校舎で使用できそうなブースを検討して実施する。

3 今後のスケジュール

- ・砂川中学校で教科担任部会を随時開き、7～9年生分の副教材を採択する。
→2月27日（金）まで
- ・各教材業者へ連絡し、費用納入封筒を作成・配付する。
→新7年生：3月19日（木）
→新8・9年生：3月24日（火）
- ・砂川学園の入学式に一斉に販売する。
→4月15日（火）

4 その他

- ・今回の措置は、令和8年度限定とし、令和9年度からの販売方法及び採択に関しては開校後に改めて協議して決定する。

